

いの町史編さん室だより(No.7)

「いの町史編さん室だより」は今回で7回目になります。毎回、町史編さん作業で知り得たことや体験したことなどを町民の皆さんに紹介しておりますが、いかがでしょうか？ 平成26年の町の合併10周年を目標に「いの町史」の編さんを進めている町史編さん室では、町民の皆さんが参加する町史作りを目指しています。つきましては、町史編さんに役立つと思われる資料・写真などがあれば、ご連絡ください。

それでは、今月のちょっと昔の話をどうぞ。

編さん室からのちょっと昔の話

編さん委員 山岡 遵

「吾北の森林軌道 一の町の森林軌道探検隊に参加してー」

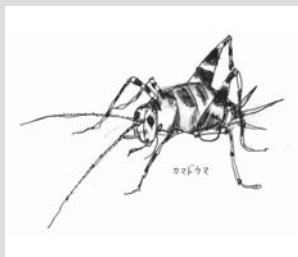
町に森林軌道があったことをご存じですか。高知県で森林軌道と言えば、馬路村魚梁瀬の森林軌道を思い出されるでしょう。

「本川村史」によると軌道が敷かれたのは、昭和2年に竹ノ川・長沢立橋間で着工され、同7年に旧本川村竹ノ川土場・旧吾北村高岩間で完成したとあります。旧本川村で積み込んだスギ、ヒノキを、貯木場のある旧吾北村の高岩まで運搬するためです。

2003年に吾北の森林軌道を地元林業関係者、役場職員、当時の小松村長らが訪ねています。私は、機会があれば歩いてみたいと、ずっと思っていました。いの町地域雇用創造協議会の三浦真紀さんが、1月12日に行かれることを知り、喜んで参加することにしました。

当日、地域おこし協力隊も含めた6名で、吾北花ノ木から成川上の林道出会いまで歩きました。花ノ木の集落から標高で100mほど植林の中を一気に下ると、幅2mほどの道に出くわしました。それが森林軌道でした。所々、谷で道は崩れていましたが、その他は歩きやすい道でした。線路は、昭和35年に撤去されたとのことでありませんでした。

後生楽の集落手前でお昼をとり、集落の方に今回のメインであるトンネルのことを聞きました。10分ほどで着くと教えてくれました。勇んで進んで行くと、突然トンネルが現れました。みんな「すごい」と声が出ました。



トンネルの入口は、コンクリートで覆われていましたが、少し奥に入ると、岩盤むき出しの状態でした。足元には枕木と思われる朽ちた木が並んでいました。ライトをつけて奥へ進むと、足元に水が溜まっており、天井にはカマドウマが群れていました。



森林軌道トンネルを歩き終えて記念写真

次第に岩盤が、黒色片岩から石灰岩の地層に変わってきました。そういえば、先ほど花ノ木の上の方で石灰岩の切り出しの現場を見ました。トンネルの長さは100mぐらいでしょうか。

トンネルの先を100mほど行くと、今度はコンクリートの橋脚が現れました。向こう側に渡るには、一度谷に下りて上りなおすしかありません。国土調査のテープを頼りに、反対側の軌道にたどり着きました。

岩肌に昭和18年見渡地蔵が祀られていました。事故で亡くなった方を祀ったのでしょうか。再び2mほどの平坦な軌道を進むと林道に出ました。林道に車を置いた分岐まで下り、調査は終了しました。

三浦さんは、「都会の近くの山では、このような道があれば、誰かがすでに調べているが、町には調べられていない道がまだまだあります。昔の道は、地域の貴重な資源。地域の方にも遠足などで歩いてもらいたいですし、遠方の方が訪れるハイキングルートとして観光面でも活用が可能だと思います。」と話していました。興味のある方は、是非三浦さんに声を掛けてみてください。

情報提供のお願い

1 村所八十八カ所巡りの資料提供について

本川、吾北、伊野地区の八十八カ所巡りに関する巡拝図・写真などがあれば教えてください。現在、未来へ残しておきたい文化として、「村所八十八カ所巡り」の資料集めをしているところです。特に、吾北地区については、下八川、上八川地区には資料などがあるように聞きます。心当たりのある方は、町史編さん室までご連絡をお願いします。

問い合わせ・連絡先

社会教育課 町史編さん室(内線31)
☎ 893-2012 ☎ 893-2013

いろいろな情報
をお待ちして
おります。



いのちうしせん